

ガザでのジェノサイドを止めるためにできること

様々な住民福祉の向上になくはないのが平和です。
平和の問題に関連して、代表質問でガザ攻撃について質問しました。

私の質問) イスラエルは、ガザ住民の半数以上(140万人)が避難しているラファを爆撃し、民族浄化を行おうとしています。ところが、日本政府は停戦すら求めず、イスラエルに対して経済制裁もしていません。日本政府は、国連パレスチナ難民救済事業機関 UNRWA (アンルワ) への拠出金も停止してしま

「東村山市わたしたちのSDGs推進都市宣言」の1番目には、世界の平和に貢献すると謳われています。この立場から、日本政府に対して、独自外交を進めることを政府に進言するべきではないでしょうか。

市長) ガザ地区での紛争、ウクライナ侵攻など様々な地域で緊張が高まっており、一刻も早い紛争地の平和を願います。

これらに関する外交政策

につきましては複雑を極める国際関係の中で圧倒的に情報量が不足する市として、**政府に進言するということは考えていません。**基礎自治体の役割として平和文化を市民社会にしっかりと根付かせていくことについて取り組んでいきたいと考えています。

東村山市はこれまでも「北朝鮮の核実験・弾道ミサイル発射(2023)」、「ロシアのウクライナへの軍事侵攻(2022)」に対して抗議文を送ってきました。こうした意見表明は重要です。後ろ向きな市長の答弁は残念です。



パレスチナ連帯アクションin東村山

2月24日、久米川駅のパレスチナ連帯アクションin東村山に参加しました。市内外からおよそ30名の市民が集まり、それぞれの思いをお話しました。何の罪もない子どもや赤ちゃんの命が失われる現実に、いても立ってもいられない仲間がこんなに！とても励まされました。

東村山市議会に2本の陳情が出されています。全国でも300近い地方議会で同趣旨の決議や意見書が採択されています。採択されることを願っています。

●日本政府に対し、『ガザでの虐殺行為をやめ、即時の停戦に応じること』をイスラエル政府に要求するよう求める陳情

●ガザ地区におけるイスラエルの攻撃中止と即時停戦に向けた日本政府の最大限の外交努力を求める意見書を東村山市議会から日本政府へ提出することを求める陳情



その他の陳情

- 再審法の改正を求める意見書を国会・政府に提出することを求める陳情
 - コロナ後遺症患者と家族の救済を求める陳情
- 陳情は、常任委員会で議論がされた後、議会最終日に採決、または継続審査となります。

3月定例会

本会議初日 2月21日

常任委員会

3月4日~3月8日

予算特別委員会

3月12~18日(平日のみ)

本会議最終日 3月26日

ボランティア募集中

宣伝でプラスターを持つ・宣伝カーに乗る

ご自宅にポスターを貼る・チラシ配布・バナー作成